

## 『赤毛のアン』取材旅の舞台裏

### 年金生活者の工面

定年 8 年目。現在、私は昭島市のシルバー人材センターで駅前の自転車整理の仕事を週 3～4 日と、元の職場で週 2 日のアルバイトをしています。「年金生活者」の旅です。費用は最低限に抑えなければなりません。そこで、いつもどおりインターネットで格安便と格安ホテルの確保にあたったのですが、安いフライトはどれもすでに売り切れていました。やむをえず、たまたま 5 月にオープンしたばかりの H.I.S.昭島店に行き、手続きを進めました。営業開始の初日でした。



懸案のフライトは、ぎりぎりでなんとか格安のを確保できました。カナダ航空。プリンスエドワード島往復で 108000 円。でも、請求書を見て驚きました。燃油サーチャージ（いわゆる石油の高騰に伴う乗客の負担金）として 40000 円も加算されていたのです。「少女物語」ともいわれる作品の内容からして、当初は「妻も一緒に」との予定でした。でも二人だとこれだけで 8 万円になります（7 月からはさらに一人 56000 円に上がった）。それに明年は夫の海外赴任に同行した娘と孫のところにも行く予定があります。度重なる出費予定。そこで「あなたが代表して」との妻の言葉に送られての一人旅となったのです。

### いくつかのラッキー

次の課題は島での“足”でした。現地事情に詳しい友人によれば「プリンスエドワード島は愛媛県くらいの大きさで、カナダで最も小さな州。美しい島ですが、問題は公共の乗り物機関がほとんどないこと。現地では旅行社が企画するバスツアーを利用するか、レンタカーでしょうね」とのこと。

取材であちこちを回るのには、レンタカーが最適でしょう。でも、5 年前のスペイン留学の際に車を手放して以来、ハンドルを握ったことがありません。仮に国際免許を取っても事情の分からない現地では事故を起こしかねない。ということで、最終的にはインターネットで見つけた JTB の現地オフィスが企画する「アンゆかりの地 1 日ツアー」に申し込んだのです。

島に着いて 2 日目の朝。ホテルにツアーの迎えの車が来ました。ところが私以外に誰も見当たりません。なんと、ガイド兼運転手を自分が独り占めにする結果になったのです。

「清水さんは本当にラッキーですね。きょうは私も仕事の谷間で、昨日は 6 人を案内、明日は 10 人以上のグループを引率することになっているんですよ。ずっと曇りがちだった天候も、きょうは青空に変わっているし・・・」。ほがらかで美人の女性ガイド兼運転手さんの言葉。それにしても、後に触れるフライトのキャンセルがあつて都合 5 日間、島に滞在

したのですが、写真撮影に重点をおいたツアーの日が唯一の晴天だったのは、なんとしてもラッキーでした。

### フライトキャンセルの波紋



City	Time	Flight No.	Time	Status
Montreal	06:00	7173	06:00	ON TIME
Halifax	06:30	8089	06:30	ON TIME
Halifax	11:35	8071	11:35	ON TIME
Toronto	12:25	8057	12:25	ON TIME
Ottawa	14:40	8011	14:40	ON TIME
Boston	15:14	5415	15:14	ON TIME
Halifax	16:25	8973	16:25	ON TIME

島の州都シャーロットタウンの空港からトロントに出る便は朝6時発の1日1便のみ。帰国日。まだ暗い空港に着くと、思いがけないニュースが待っていました。

「昨夜、トロントの空港がサンダーストーム（雷嵐）に襲われ閉鎖された。その流れで、今朝のトロント行き便はキャンセルになっています」

なんということだ！きょう帰れなければ帰国後の日本での予定が大幅に狂ってしまう。しかも、1日延期によるホテル等の滞在費用も自然災害だから出ないという。やむを得ず、海外傷害保険に補償の希望をつないで再びホテルに戻り、自宅に電話を入れました。帰国が遅れ自分が仕事に間に合わない日の代理出勤を、妻を通して依頼してもらったのです。

翌朝。今度はフライト（50人乗り）は飛んだのですが、トロントでは、プリンスエドワード島からの2日分の乗客を乗せなければなりません。夏のシーズン直前。成田行きのエコノミー席は満席でした。その結果、自分ほか何人かがビジネス席へ。食事や飲み物もグッとレベルが上がりました。シートもゆったり。おかげで紀行の草稿も、機内でゆっくりまとめることができた、というおまけもついたのでした。

### NHKの番組で写真が生きる

島では、元関西の高校で副校長と英語の教師をしていたMさん夫妻と親しくなりました。定年直前に使命を感じてカナダに移住、現在プリンスエドワード大学で日本語を教えています。滞島中、車で街の案内をしていただき、家にもお邪魔しました。そのMさん夫妻が7月20日（日）夜のNHK・BS1の「地球アゴラ」の番組に出演したのです。「海の日」を前日にし、世界各地の島で活躍している日本人の紹介番組でした。

実は、出演が決まった『赤毛のアン』に関する良連絡がありました。私メールに添付して送った『赤毛のアン』出版プリンスエドワード島私の撮ったグリーンゲ



われていたので。ホームページのトップページです。”Wao! It's great!” 小さな感激でした。インターネットの発達で、まさに私たちの活動は地球レベルで同時進行していることを実感したひとときでした。

た時、Mさんから『赤い写真が欲しい、とのは希望される写真をておきました。番組で100周年でにぎわうの紹介の中で、なんとブルズの写真も使の写真とはこのページに載せている写真